

印刷(Print)に携わる人(Man)の会報です。

ピーマン5

ファイブ

2023
No.58

令和5年1月

大阪府印刷工業組合・福島支部／大阪福島印刷工業会 会報

発行人／中川敏之

ファイブ

5つの地域が
調和して
業界の発展と
共存共栄を計る。

福島区・北区(旧大淀)
此花区・西淀川区
その他の地区



年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。
旧年中は、大阪福島印刷工業会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

私が会長を拝命以降、新型コロナウイルスの影響で、事業は計画案通りに実施出来ない状況が続いておりましたが、令和4年度においては、総会、ファミリーバーベキュー、ビアパーティ、懇親旅行、合同懇談会、そして新年互礼会と順調に開催することが出来ました。各委員会のご尽力とご参加いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

支部活動は、形を変えながらも、活性化することが出来ました。が、長引くロシア・ウクライナの戦争、元首相の襲撃、物価高の大波、円高の進行、新型コロナ第8波とインフルエンザの同時感染拡大等々。驚かされるのが次々と起こっています。

印刷業界においても、紙の価格が製紙メーカーの強気で何度も値上がりし、電気料金の高騰も売値に転嫁できる範囲を越えています。理由を聞けば納得もしますが、このまま何もしなければ先は見えていません。

今、我々経営者が次代に引き継ぐためには「覚悟をもって行動する」ことが肝要だと思っています。自社のブランディング、業態変革、M&A：方法は各社違います。覚悟をもってこの難局を乗り越えなければいけません。会社は経営者の器以上に成長することはありません。経営者が人間力を高め、腹をくくることで、まず一步を踏み出せるのではないのでしょうか。支部にも大印工組にも覚悟を決めた方はたくさんおられます。本音で話すことができるのも、この組合の大きなメリットです。どんどん行事に参加してください。

昨年のサッカーワールドカップでは日本中が熱くなりました。「新しい景色は、見ることはできなかったけれど、新しい時代を見せてくれた」。次代が新しい景色を見せてくれる可能性は十分にあると思います。ただ、我々は良くも悪くもこの3年、新しい景色を見てきました。今年も景色は変わり続けるのでしょうか、何とか「ブラボー」な年になることと、皆様のご健康と大阪福島印刷工業会の弥栄を祈念し挨拶とさせていただきます。

令和五年一月

大阪福島印刷工業会

会長 中川敏之



令和4年新年互礼会を1月21日(金)ホテル阪神大阪に於いて正会員、賛助会員21名が集い開催しました。令和3年1月の新年互礼会は新型コロナウイルスのため開催できませんでした。今回も緊急事態宣言は発令されていないものの、急激な感染拡大に、他支部では中止したところも多く、最後まで悩み、事前に出席者へ「不安を感じられる方は欠席に変更してもらっても結構です」と確認書でお知らせしたところ4名減で皆様のご理解を得て開催することが出来ました。

午後6時より大島総務副委員長の司会で開会し、中川会長が新型コロナウイルス感染の急激な感染拡大の中、参加いただいた会員に感謝を述べました。続いて浦久保理事長の祝電が披露された後、大阪府印刷工業組合 山崎副理事長にご挨拶をいただきました。



き、荒川副会長の乾杯で懇親会へと移りました。今回は接触を減らすため、乾杯も食事中もドリンクを注ぐのは全てホテルのスタッフに任せ、料理のサービスも早めにしていました。



ただき「モクモクと黙食」を実行しました。アトラクションはビンゴゲームのみで、その分景品も少し豪華に沢山用意いたしました。「リーチ！」は静かに挙手、「ビンゴ！」は起立し、前へ出てきて商品をもろう。一見盛り上がり欠けそうでしたが、久々に仲間会えたこと、この状況下で開催出来た喜びで支部会員の結束力を感じた新年互礼会となりました。

20時より本部行事、ものづくり委員会、厚生委員会から告知があり、このように先が見えない状況でも、委員会で話し合っており楽しくメリットのある行事になるよう企画してもらえていることを大変嬉しく思いました。

竹本副会長の中締めで早く以前のように普通に集い、語り合えることを祈念しお開きとなりました。

企画

印刷

加工

発送

OSHIMA PRINTING **Go to 100th** www.oshima-p.com

企画・デザインから印刷・製本・加工まで
印刷物全般 何でもお任せ下さい。コスト削減・短納期を実現!!
まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

大島印刷株式会社 〒554-0012 大阪市此花区西九条3-2-16
TEL 06-6462-0521 FAX 06-6468-3606

Total Information Solution
Keibunsha

「印刷業」から「情報加工業」へ

チラシ・パンフレット・カタログなど各種印刷物の企画制作から
アプリ開発まで、トータルにサポートします。

株式会社 啓文社
URL : <https://www.kibunsha.co.jp>

[大阪本社] 〒555-0023 大阪市西淀川区花川2-14-14 Tel 06-6471-0431
[東京オフィス] 〒102-0084 東京都千代田区二番町9-3 Tel 03-6403-3962

今年で11回目となる「ものづくり委員会」を令和4年2月26日(土) 13時より江坂にあるトヨタL&Fカスタマーズセンター大阪にて行いました。

テーマは「トヨタ式改善の考え方」(2Sから始めよう!)と題して緑青会と共催で7名の参加がありました。

トヨタの方針は「安全に正確に早く、楽に安く、地道に愚直に徹底的に。」をテーマにあげ、儲かる仕組みムダ・問題の見える化をして、原価の低減、自動化、人材育成を行っておられました。

その中の一例で①作り過ぎ②手持ち③在庫④運搬⑤動作⑥作業そのもの⑦不良・手直し⑧産業廃棄物⑨間違え情報の9つのムダをメインに改善し固定のルールではなく、その時々で変化させながら「仕事をすすむときの基準・ルール」(①作業手順書②



作業要領書③安全要領書など)を作り、監督者が管理する方法を学びました。

また、現状に慣れず、もっとうまくいくように「変える、始める、我慢する」を実践し信念と情熱で考働(考えて働く)の教



訓を教えて頂きました。見学でも、整理整頓がなされ、自動によるリフトの積み下ろし、仕分け、梱包、発送準備等凄いの一言でした。

セミナー2時間、見学2時間でしたが、あつという間で、大変多くのことを考えさせられました。また個別でも申し込み可能とのことですので、自社の社員と再度受けてみたいセミナーだと思いました。



DXを味方に。お手伝いするのはモトヤ。

株式会社モトヤは、これからも、「コトづくり」のご提案を続けます。

モトヤの環境対応資材 **ECO no MIST** として、「環境」と「価値」を考える印刷資材 **ECO no MIST**(エコノミスト)でSDGsのゴールの実現に協力していきます。

株式会社 **モトヤ** 大阪 〒530-0038 大阪市北区紅梅町2-8 ☎(06)6358-9131(代) 東京・横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

KAMIX PAPER SOLUTION COMPANY

いつでも、どこでも、断裁品でも、即納が可能

- 毎週土曜日営業(15時まで)
- 尼崎と高井田の2拠点体制(断裁機6台、トラック9台)
- トップクラスの在庫量と豊富な端紙対応品

紙を活かした多彩な商品やサービスもご提供

- 多種多様な印刷、加工、デザインの外注手配
- 小ロットのアルバム上製本、バインダー製本
- 極小2次元コード印刷(音声ペン教材、真贋判定)

高井田支店: 〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通6-2-10 TEL: 06-6785-1036 / FAX: 06-6785-1039

尼崎支店: 〒660-0828 兵庫県尼崎市東大町2-1-21 TEL: 06-6482-2701 / FAX: 06-6482-2706

令和4年4月22日(金)

令和4年度の総会を4月22日(金)18時、ホテル阪神大阪に於いて正会員22名、見学の賛助会員1名、委任状16通の受理し開催しました。新型コロナウイルス感染症も少し落ち着き、久しぶりに会う会員に安心いたしました。

令和3年の事業報告を荒川副会長より報告いただき決議事項へと移りました。令和3年度決算案を山崎会計部長、監査報告を谷口会計監査に報告していただき共に承認されました。行事を開催できず予算案通りの決算とはなりませんでしたが、ご理解をいただきありがとうございます。続いて、令和4年の事業計画案を竹本副会長、予算案を山崎会計部長より上程、全てご審議いただき承認されました。

本年は役員ならびに委員の改選年にあたり中川会長の続投が満場一致で承認され、新しい役員、委員、本部委員の発表がありました。会長は「今年度は次代へ引き継ぐための人選をいたしました。各委員会は委員長から次の世代へ行事の流れとその意味を引き継ぐように伝え、一人ひとり、自覚をもって考え、行動してほしい。本部委員会へも新しい若手にお願いし他支部



の方と接し様々な考え・人間性があることを感じて自分自身の成長と支部発展に還元していただけだと幸いです。」と委嘱状を渡されました。総会の最後になりましたが、緑青会金本会長より活動報告があり、新年度がスタートいたしました。19時30分より大島総務委員長の司会で懇親会が始まりました。大阪府印刷工業組合山崎副理事長のご挨拶の後、谷口前会長に乾杯のご発声をしていただき冷たいビールにやっとなが落ち着きました。新型コロナウイルスが、懇親会には参加せず帰られる会員も4名おられました。食事はお弁当形式で、お酒は手酌かホテルのスタッフにお願いしました。相変わらずのマスク会食ではありましたが、楽しいひと時を過ごし、各委員会の行事のお知らせの後、荒川副会長の中締めでお開きとなりました。



創業1960年 自信と誇りがあります
一冊も一万冊も、大切に…丁寧に…
私達は製本のプロフェッショナルです。
製本の事なら お気軽にお問い合わせください。

- “中綴じ・無線綴じ・Wリグ 綴じ・ループ綴じ”製本
- DM折、特殊加工などの折加工
- ポスター・チラシなどの断裁加工

有限会社 立花製本

〒531-0076 大阪府北区大淀中3丁目6番12号 TEL 06-6458-2120 FAX 06-6453-8602
製本産業個人情報保護体制 S A P P S E-mail info@tachibanaseihon.jp
ISO認証取得 SO-27-0005-4 URL http://www.tachibanaseihon.jp



5月29日(日) コロナ禍で中止・延期されていた恒例のファミリーハイキングは趣を変え、ファミリーバーベキューとして2年ぶりにロッジ舞洲にて開催いたしました。

午前11時にゆつくりと集合し、福島付近から車で約30分、電車とバスを利用された方は、乗換とバスの待ち時間もあり思ったより時間がかかったようです。

当日は5月の快晴、少し汗ばむ陽気に芝生の広場から神戸方面を見ると、南国風の木々の間から見える景色は青い海のオーシャンビューで大阪市内と思えないロケーションでした。(波打際で見たら茶色かったです) 大人25名、子供9名の計34名が4つのテーブルに分かれ、厚生委員は各テーブルを担当し、中川会長の挨拶と乾杯の音頭

の後に楽しいバーベキューが始まりました。

最初は、皆さんコロナ禍でのマスク会食に緊張されていました。施設内で行なわれていた結婚式や子供たちがはしゃぐ姿を見ている内に、すぐに緊張も溶け会話も弾み、美味しいお肉や野菜を堪能し、楽しい時間を過ごせました。外で飲むお酒は美味しいですね! 食事も進み、子供たちの焼きマシユマロタイムは大人も交じり焼き加

減に苦戦していました。西谷さんの連続バク転は会場をさらに盛り上げていました。

最後の仕上げに、恒例の中川会長が作る焼きそばは美味しかったです! さらにお酒も進み、懇親を深めた後15時に現地にて解散となりました。皆さんお疲れ様でした。



令和4年8月4日(木)
ホテル阪神大阪

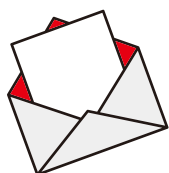
第17回 懇親 Beer Party



令和4年8月4日(木) ホテル阪神大阪
において、一旦途切れた「懇親ビアパーティー」が3年ぶりに開催されました。
新型コロナウイルス感染症の第7波が急激に拡大、1日の感染者が全国で20万人を超える中、若干名のキャンセルは出たものの79名の方々にご参加いただきました。
今回は他支部の役員や大阪府印刷工業組合からの招待も一切せず、例年のような宮田副会長の音楽イベントも行わずにWithコロナのビアパーティーに徹して行われました。

今回唯一のイベントである大抽選大会は、ゲストの笑福亭扇瓶(せんべい)さんに進行をお願いして行いました。
参加者数の関係でいつもより多少の当選確率アップの影響もあり、盛況のうちに終了しました。
今回は、コロナ禍による2年間のブランクもありスモールスタートとなりましたが、ホテル阪神大阪さんの万全な感染対策とご参加皆様さんのご協力のおかげで、その後も一人の感染者も出さず無事に終えることができました。
今回は行動規制の無い状態での福印工らしいビアパーティーが開催できることを熱望しております。





～大青協だより～

貴重な同年代の経営者とのつながり

谷口印刷紙業株式会社 谷口 和宏

4年前、元中外産業の徳田隆志さんから大阪青年印刷人協議会（大青協）に誘われました。まだ緑青会の活動にも参加し始めたばかりで、研修旅行で飲み過ぎてひどい二日酔いになっていた頃です。当時はキックオフコンベンションには参加したことがあるものの大青協の名前すら知りませんでした。特に仲良くしていただいていた徳田さんからの誘いということもあり、二つ返事で引き受けました。その縁で徳田さんとは今でも大青協のメンバーを交えて時々飲みに行く友達です。

大青協に参加して思ったのは、印刷業界にはこんなにたくさんの若手経営者がいるのかということ。その中で堂々と発言したりプレゼンを行うメンバーの姿は、自社に引きこもりがちだった私には眩しく映りました。年齢層は20代から40代で約20名が毎月の定例会に参加します。定例会では大青協が主催するイベントについて話し合ったり、それぞれが持ち回りで短いプレゼンをしたり、メンバー各社の会社見学をします。このプレゼンや会社見学が自己紹介のようなもので、各社がどのような製品や設備の特徴をもっているか分かり、仕事の相談もしやすくなります。定例会のあとは印刷会館の近隣の桜ノ宮か天満で懇親会をやっています。懇親会では会社の話や家族・趣味の話などで盛り上がり、メンバーの人となりを知り打ち解けるのに時間はかかりませんでした。

2022年1月のキックオフは私がリーダーとなり「親子で楽しむトントン相撲」を企画・運営しました。この時は従来の勉強会＋懇親会の形ではなく、同時開催のペーパーサミットへの集客を意識して家族で参加できるイベントになりました。そのため参加対象者が小学生の子供がいる人に限定されてしまい、緑青会の多くの方が参加できなかったことは非常に不本意でした。緑青会を代表して大青協に参加している私と

しては、各支部二世会からの参加者が交流を深めてこそそのキックオフだと思っています。とはいえダンボールで等身大の力士を作り、大きな土俵でのトントン相撲は参加者もあまり経験したことがなく、大人も子供も楽しんでいただけたようです。力士はアニメやゲームのキャラクターを模した力作がいくつも作られ、デザインのコンテストがあればより良かったと思えました。大青協メンバーにとっても準備や当日の進行は経験のない内容でしたが、参加者の笑顔を見ながら楽しんで運営することができて良かったと思います。

11月には近畿ブロック協議会が行われました。こちらは全青協が主催のイベントで、全国からの参加者と一緒にグループワークを行います。多くの若手経営者の意見を聞き、その中で自分の意見がどの位置にあるのか知ることができる良い機会になります。懇親会では新たなつながりができて、個性的な面々からは刺激を受けることも多く、楽しく過ごすことができました。

最後になりますが、いつも大青協の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



旅行 (箱根～鎌倉)

令和4年10月29日(土)～30日(日)

今回の懇親旅行は10月29日(土)～30日(日)に箱根、鎌倉方面への1泊2日の旅を行いました。

コロナウィルスの流行により過去2回中止となり、3年ぶりの旅行となるので何人の会員、賛助会員の方々に参加していただけたか不安でしたが17名のご参加を頂き無事開催することが出来ました。

29日の朝8時15分に新大塚駅の千成びょうたん前に集合。久しぶりの懇親旅行ということもあり少しの緊張とワクワクしながら駅のホームへ。8時48分発のひかり500号足取りも軽く乗り込むと早速、ビールやお茶を飲みながら到着まで楽しい時間を過ごしました。

11時過ぎに熱海駅に到着し、バスに乗り換え箱根方面へ。話し上手なベテランのバスガイドさんの案内で箱根の関所に到着。まずは「箱根関所物語館」で昼食を済ませて「国指定史跡 箱根関所」の見学。江戸から東海道の要所であったということで現在、建物も復元されており当時の様子をうかがい知ることができました。関所から眺める芦ノ湖もすごくきれいでした。資料館を見学した後、「芦ノ湖遊覧船」に乗船。箱根関所港を14時20分に出発。標高724mの湖を走る船のデッキは少しひんやりとしていて、途中から船内に入る方も。船上からの富士山を楽しみにしていたのですが、当日は少し雲が多く見る事ができませんでした。残念。

そして船は箱根園港に到着。再びバスに乗り込み大涌谷へ。時刻は16時前でしたがまだ、大涌谷へ向かう車で渋滞していて予定より10分おくれの16時10分に到着。集合写真を撮ったら、さっそく名物の黒たまごを購入。硫黄の匂いが漂う道の端でみんな付属の塩をつけながら食べたたまごは大変美味しかったです。口の中の水分をみんな持っていかれました。バスに戻って喉をうるおしながら、宿泊先の「熱海温泉 後楽園ホテル」へ。

到着が17時30分すぎということもあり、日も沈みあたりは暗くなっています。窓から見える熱海の夜景がと



定期健康診断

コロナ感染症の影響はまだありますが、社会がさほど騒がなくなりましたが、マスク生活はまだ続きそうな感じですね。その状況下での令和4年の定期健康診断。

今回は6月16日(木)と17日(金)に「福島健康管理センター医療法人 健昌会」で、7月8日(金)に全版(株)にて行われました。

会場では、問診のあと身体計測、視力・聴力検査、血圧測定、採血、検尿、心電図等が行われました。感染予防対策として入口での体温測定をはじめ、各検査室に入る毎にアルコール除菌が徹底されており、安心して受診する事が出来ました。

健康診断は、会社として社員が健康で働き続けるために一年に一度、受診させることが義務付けられています。これからも支部主催における健康診断を多くの方々を受診下さいますようお願いいたします。今回は(定期健康診断34名、特殊検診10名)が受診しました。



令和4年度 懇親



でもきれいでした。夜の宴会まではまだ少し時間があるので、大浴場の温泉で1日の疲れを洗い流し、癒された後は皆さんお待ちかねの宴会の始まり。金目鯛の煮つけやアワビなど、新鮮な魚介類にお酒も進み、恒例のピング大会のはじまり。1等の超豪華干物セット、箱根の伝統工芸品の寄せ木細工のからくり箱をはじめ地酒など、地元の名産を景品に楽しい時間を過ごしました。

翌日は、人気スポットの鎌倉方面ということもあり、予定より30分早い8時にバスへ乗り込みホテルを出発。伊豆半島の海沿いの道を走っている途中みかん畑があり、バスガイドさんの歌う「みかんの花咲く丘」を心地よく聞きながら神奈川県へ。海岸ではサーフィンを楽しむ人たち。自転車でサーフボードを載せて走る人などの車窓から見える雰囲気も少し変わってくる。湘南に。途中、渋滞も無くスムーズに江ノ島に到着。水族館の前でバスを降りそこから徒歩で江ノ電の江ノ島駅へ。少しレトロ感のある駅舎で電車の到着を待っているとグリーンのかわいらしい4両編成の電車が到着。ワクワクしながら車両に乗り込み終着駅の鎌倉へ出発。途中、一番の人気スポット、鎌倉高校前駅横の「スラムダンク」の踏切を通過し20分ほどで鎌倉駅に到着。ここからは観光客でにぎわう小町通りを散策しながら鎌倉幕府の宗社として鎌倉の都づくりの中心であった鶴岡八幡宮に到着。大石段を登って本殿に参拝し、振り返ると遠くの由比ヶ浜まで参道がまっすぐつづいているのがみえました。参拝を終えるとバスに乗り込み「鎌倉の大仏」へ移動。入り口を入るとすぐに大仏様が座っておられその大きさに圧倒されながら拝観を終え、近くの鎌倉観光会館 味亭に移動し昼食を頂きました。帰りの小田原駅に向かう途中、少し時間があったので地元の人気の「鈴廣かまぼこの里」に立ち寄りお土産を購入。ここで2日間の予定はすべて終了。朝の出発が早かったせいもあり小田原駅から新幹線に乗り込む頃には参加者の皆さんも少しお疲れの様子でしたが、無事18時半に新大阪駅に到着し3年ぶりの楽しい懇親旅行も解散となりました。

オフィスまるごと支える、大塚商会のDXソリューション

企業の“当たり前”を変革するあり方とは

①	業務の“当たり前”を変革する	～「紙」から「デジタル」へ～ データ活用を前提としたDXには 欠かせない取り組みです。
②	働き方の“当たり前”を変革する	～「いつもの」から「どこでも」へ～ 柔軟な働き方の実現には 欠かせない取り組みです。
③	意思決定の“当たり前”を変革する	～「経験と勘」から「AI×データ」へ～ 迅速かつ確かな意思決定には 欠かせない取り組みです。
④	顧客接点の“当たり前”を変革する	～「リアル」から「Web活用」へ～ お客様との関係の強化・深化には 欠かせない取り組みです。
⑤	IT環境の“当たり前”を変革する	～もっと「安全・安心・快適」へ～ 企業・組織全体の基盤強化には 欠かせない取り組みです。

【オフィスまるごと】
ビジネスプロセスのデジタル化

大塚商会 〒553-8558 大阪市福島区福島 6-14-1 TEL: 06-6458-6021
西日本 POD 特販課 担当: 石中・田中
<http://www.otsuka-shokai.co.jp>

10 anniversary

その先へ

谷口印刷紙業株式会社
<http://taniguchi-print.co.jp>
 〒553-0002 大阪府大阪市福島区鷺洲4-2-1
 TEL: 06-6458-0274 FAX: 06-6458-0276
 E-mail: k-print@ae.aunone-net.jp



令和4年11月25日(金)に、かに道楽梅田店にて1班から4班の合同懇談会が20名(正会員17名・賛助会員3名)の参加で開催されました。竹本副会長の司会で18時30分の定刻通りに始まり、中川会長の挨拶では、新しい取り組みや今後やりたい事を積極的に活動しようとするべかられた。そして、今年6月に急逝された3班の山崎紙工(株)代表取締役 山崎壮一郎様のご冥福をお祈りし献杯を捧げました。

続いて荒川副会長の乾杯の発声で、美味しいカニ料理とお酒を楽しみながら懇談会がスタートしました。今回のテーマはwithコロナafterコロナの取組等、前向きな話をすると言う事で、各人2分の持ち時間で発表された。



「設備投資の際に補助金を有効活用する事」、「売上10倍計画案」、「原価計算の見直し」、「SNSによる発信力で新規開拓する」、「電気代の値上げに対応策」、「利益率の改善計画案」、「DM発送にて新規顧客との受注につながった事」、「ホームページをリニューアルする事」、「物価が上がっているものの、なかなか価格に転換できない悩み事」、「愛犬の成長に癒されている事」、「ゴルフ倶楽部の会員権を購入予定」など活発な話題で大いに盛り上がりました。定刻の20時30分となり山崎会計部長の一本締めと集合写真撮影でお開きとなりました。まだまだコロナ禍ではありませんが、リアルに会員同士が顔を合わせて意見交換する事で、大いに伝わるものを感じました。

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

山崎紙工株式会社 代表取締役 山崎壮一郎様 ご逝去

(令和4年6月9日歿)

総務だより

(令和4年 役員会・委員会・全体会議報告)

2月	3日(木)	三役会	えにし	4名	ものづくり委員会セミナー、全体会議など
3月	3日(木)	三役会	えにし	6名	令和3年度決算、令和4年度予算案、役員改選など
3月	17日(木)	全体会議	ホテル阪神大阪	10名	総会など
5月	12日(木)	三役会	えにし	6名	ファミリーバーベキュー、健康診断など
6月	7日(火)	三役会	えにし	6名	ビアパーティなど
7月	12日(火)	三役会	えにし	6名	ビアパーティ、秋季懇親旅行など
9月	13日(火)	三役会	えにし	6名	秋季懇親旅行、合同懇談会など
11月	10日(木)	全体会議	ホテル阪神大阪	17名	本部委員会、支部行事報告など
12月	13日(火)	三役会	いやさか	5名	ピーマン5、新年互礼会など

～ G F 会 ～

令和4年度 第3回GF会を5月14日（土）新奈良ゴルフ倶楽部で開催いたしました。
新型コロナ第6波が少し落ち着き、5組18名の方にご参加いただきました。スタート前の小雨も上がり曇り空ではありましたが、皆さん和気あいあいとラウンドを楽しまれました。
なんと第2回に続き、今回も中川会長が優勝されました、2連覇おめでとうございます。

《結果》

優勝 中川 敏之（株式会社中川印刷所）
2位 西谷 章（西谷紙業株式会社）
3位 山崎 一彦（東光パッケージ株式会社）



令和4年度、第4回GF会を11月12日（土）オリエンタルゴルフ倶楽部で開催いたしました。

当日は晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和となりました。トリッキーで戦略性のあるコースに奮闘しながらもプレーを楽しむことができました。

そして今回は大塚商会 石中様が優勝されました、おめでとうございます。優勝スピーチでは、最近通いはじめたゴルフレッスンにより、今回のスコアにつながったそうです。

《結果》

優勝 石中 宏知（株式会社大塚商会）
2位 大島 妙（大島印刷株式会社）
3位 山田 修平（山田製本株式会社）



※GF会は福印工の会員、また賛助会員であればどなたでも参加できます。
春と秋に開催いたしますので奮ってご参加下さい！

緑青会コーナー

日頃より緑青会の活動にご協力、ご参加をいただきありがとうございます。

本年度は(株)啓文社 大中將寛さんにご入会いただき総勢20名で活動しております。

一昨年はコロナ禍で活動が皆無でしたが、今年は状況を見ながら少しずつ活動ができました。

今後ともご支援、ご協力、ご参加宜しくお願いします。

研修旅行記

今回の懇親旅行は7月30日(土)から31日(日)に東京、横浜間を1泊2日の旅を行いました。参加者はコロナ禍の中で7名の参加となりました。

新大阪駅から新幹線で移動し二日目の午前中に国会議事堂の見学を行いました。ご紹介いただいた衆議院議員の秘書の方によると2、3年前から警備が厳しくなっているそう、入る前に金属探知で二人ひとり検査され、建物に入るといふ厳戒なものでした。中の案内や解説は国会議事堂に所属する衛視の方に担当していただきました。撮影については衛視の方から許可があった部分のみ可能であり、どこでも可ではなく基本的に部屋などは可であり廊下などは不可でした。

また建物は明治時代建てられ当時の国



内の技術を極力使用された造りとなっております、ステンドグラスや扉のマスターキー、各階の郵便物をつなぐメールシユートが当時の技術では国内でできず海外製となっております。

議場の見学も行ったのですがテレビなどで見るよりも意外と狭く感じられました。そして議場の解説はテープで行われたのですが、出欠の名札は議員自身が手動で立てたりと意外とアナログであったり、天皇陛下

下が臨席する席があることは知識としてありましたが、それとは別に皇族の方が臨席する席があるなど新しい発見もありました。

ほかに天皇陛下の御休所や中央広間など明治建設当時の面影をそこかしこで見られる重厚な建築物でありました。

最後は国会議事堂の正面から記念撮影をさせていただき議事堂の見学を終了となりました。

午後からはトッパン印刷ビルにある印刷博物館を見学させていただきました。内部は撮影不可で最古の活版印刷機のレプリカが入口に展示されているなど数々の資料にあふれていました。世界の印刷の歴史を学ぶため古代の壁画やハンムラビ法典の脊柱のレプリカなども展示されておりました。その歴史の中で石板が割れないようにアルファベットに止めなどができており、もともとはデザインなどではなく必要に迫られて出来たものであることを知りました。

また世界では時系列を追って木版から活版になる流れがあり、絵は絵のページ、文字は文字のページと別れていました。そのなかで日本は平仮名や漢字など文字数が多いことから活版がなかなか定着できず、木版に頼むことが続くことで漫画の原型となる吹き出しなど絵の中に文字を入れることが可



能となるなど自由な印刷物ができていきました。それらの解説を聞きながら改めて世界とつながる印刷業に関われる喜びを感じました。

二日目の午前中には横浜にて横須賀軍艦クルーズを楽しみました。日本を防衛している日本国籍、アメリカ国籍のイージス艦、護衛艦、潜水艦などが多々停泊しており見ごたえがありました。日々厳しい訓練を行っている自衛隊、アメリカ軍の方々には感謝の思いを新たにしました。

17時48分に新大阪駅に到着し快晴に恵まれた二日間の研修旅行を無事終了いたしました。

令和4年度活動報告

- 4月 総会 (書面表決)
- 7月 研修旅行 (国会議事堂、印刷博物館、軍港めぐり)
- 12月 忘年会 一笑
- 令和5年2月 ものづくり委員会セミナー (予定)